

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

米国と「白団」

—戦後初期の米日台関係について—

The United States and "White Mission" — Analysis on the Relations between the US, Japan and Taiwan in the Early after World War II



「白団」とは、戦後初期に旧日本軍将校によって構成され、台湾の蒋介石政権を秘密裏に支援していた軍事顧問団である。本報告は主に国際関係の視点から、歴史的事実に基づいて、白団をめぐる米日台の行動を緻密に分析し、その上で戦後初期の米日台関係の複雑さを探る。また、戦後初期の日本と台湾は同じく米国が作り上げた反共同盟体系に属していた。そのような状況下で、蒋介石はどのようにして秘密裏に白団を募集したのか、また、白団はどのように創立されそして消えたのか、米国がその過程の中で如何なる役割を果たしたのか。これらは本報告の中心的な議題である。

◆ 日 時 : 2016年12月1日(木) 17:00-18:00

◆ 報告者 : 黄継朝氏(東京大学東洋文化研究所・訪問研究員)

◆ コメント : 黄偉修氏(東京大学東洋文化研究所・助教)

◆ 会 場 : 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 第一会議室

※ 報告は英語で行われます。



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

